

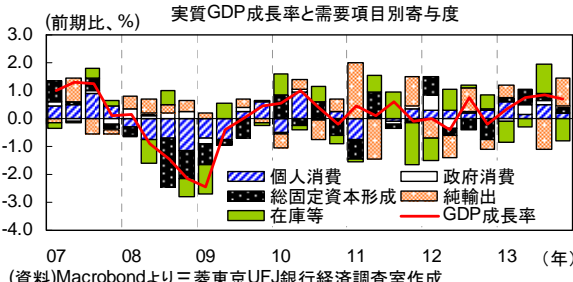
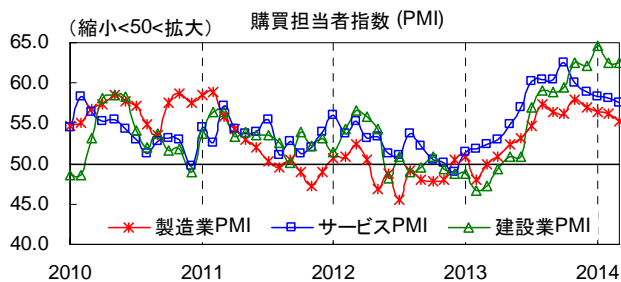
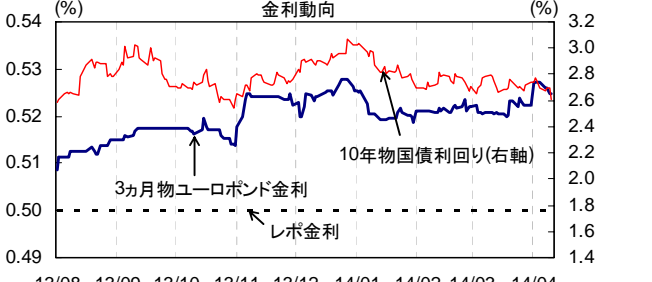
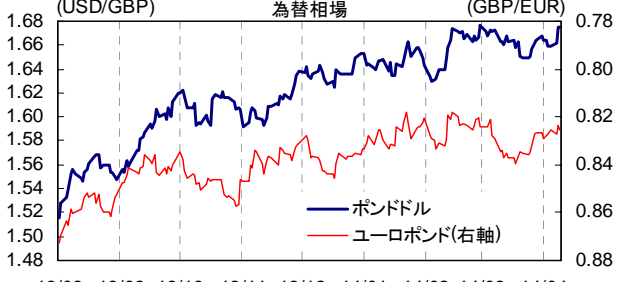
英国経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (UK)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: カーク明子 [mayko.kurk@uk.mufg.jp](mailto:mayko.kurk@uk.mufg.jp))

概況	雇用・物価
<p>英国景気は堅調な回復が続いている。第4四半期の実質GDP成長率の確定値は前期比+0.7%と、改訂値から変化はなかった。需要項目別にみると、在庫を除く主要項目全てにおいて、プラスの寄与となり、特に純輸出の寄与度が1.0%ポイントとなった。先行指標とされる購買担当者指数 (PMI) は、緩やかに低下してきているが、企業活動の拡大・縮小の分岐点である50を依然として大きく上回っており、景気の底堅い拡大持続を示唆している。雇用・所得環境が改善し、消費者マインドも高水準で推移していることから、個人消費が引き続き景気回復を牽引する公算が大きい。政府予算編成用の公式経済見通しなどを作成する予算責任局 (OBR) は、3月に2014年の実質GDP成長率見通しを前年比+2.7%と発表し、12月時点の予測値 (同+2.4%) から上方修正した。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>2月の失業率(失業保険申請者ベース)は3.5%と、10ヵ月連続で低下し(ILOベースは11-1月平均で7.2%)、1月の雇用者数は、+10.5万人(3ヵ月後方移動平均の前月比)となった。また、1月の平均賃金は前年比+1.7%と、前月の同+1.7%から横ばいを維持した。</p> <p>2月の消費者物価上昇率は前年比+1.7%と、前月の同+1.9%から低下した。家財道具、娯楽文化の価格上昇が加速した一方で、衣料品価格や住宅維持費、光熱費の上昇が減速し、交通費が低下したことが全体を押し下げた。先行きについては、電力・ガス料金の上昇率が、環境税減税の影響によってある程度抑制されていることに加え、最近のポンド高や、食料品価格の上昇ペース鈍化、原油価格の落ち着きがインフレの抑制に寄与しよう。当面のインフレ率は同+2.0%前後で推移する公算が大きく、雇用環境の改善に伴う賃金上昇率の加速によって、実質賃金の伸び率がプラスに転じれば、個人消費の持続的回復を支える要因となることが期待される。</p>
<p><b>消費、消費者心理</b></p> <p>2月の小売売上は前月比+1.7%となり、前月の同▲2.0%からプラスの伸びに転じた。家財道具の売上が同▲1.1%、衣料及び履物が同▲0.1%と落ち込んだものの、食料品の売上が同+2.1%、通信販売が同+7.9%、自動車燃料が同+0.9%と増加した。加えて、マインドの改善も続いており、3月の消費者信頼感指数は3.3と、前月から1.3ポイント上昇し、1998年6月以降で最も高い水準となった。</p>	<p><b>生産</b></p> <p>2月の鉱工業生産は前月比+0.9%と、前月の同+0.0%から加速した。製造業は同+1.0%であった。製薬、輸送機械、食品・たばこなどの生産増加が大きかった。先行指標とされる製造業PMIは、3月に55.3と、2月の56.2から低下し、また、サービス業PMIも57.6と、前月の58.2から低下した。建設業PMIにも上昇に頭打ち感がみられるが、いずれの指数も依然として高水準を保っている。英国の企業活動は昨年急ピッチの回復をみせたが、今後は若干の減速が見込まれる。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p><b>住宅市場</b></p> <p>2月の住宅ローンの承認件数は70,309件となり、去年の夏以降、継続して前年比+30%を上回る増加が持続している。一方、住宅建設の先行指標とされる建設業PMIの住宅建設指数は、2月に62.1と雨続きの天候に影響を受け、過去4ヵ月で最も低い水準となったが、3月は64.4に持ち直した。5ヵ月連続で60を上回っており、住宅建設の堅調さがうかがえる。</p>	
<b>金利・為替相場</b>	
<p><b>政策金利</b>：イングランド銀行 (BOE、中央銀行) は 4 月の金融政策委員会 (MPC) で、政策金利の 0.50%での据え置きと資産買取規模 (3,750 億ポンド) の維持を決定した。カーニー総裁は、MPC に先立つ 4 月 3 日のインタビューで、利上げ前に経済の生産力余剰を解消する必要があるとしつつ、来年 5 月までに行われる総選挙前に利上げを実施する可能性を排除しないと述べた。</p>	
<p><b>市場金利</b> (3月～)：3月の長期金利 (10年物国債利回り) は2.65%で始まった。クリミア半島を巡る情勢が揺れ動くなか、安全資産の一角とされる英国債の利回りは上下したが、20日に米FRBのイエレン議長が来年半ばまでに利上げを開始する可能性を示唆した後は、世界的な債券安となり、同国債の利回りも上昇した。4月に入り、ECBのドラギ総裁が、量的緩和を含め市場金利を下げる政策を政策委員と討議したと発言したことを受け、欧州債は上昇、英国債も追随し、足元の利回りは2.6%台で推移している。</p>	
<p><b>為替相場</b> (3月～)：ポンドの対ドル相場は3月に1ポンド=1.672ドルで始まった。その後、BOEのビーン副総裁が、ポンド高は英景気回復を抑制する可能性があるとして指摘した後、ポンド安傾向となり、更に、米FRBのイエレン議長が来年半ばまでに利上げに着手する可能性を示唆したことを受けてドル買いが進み、1.64ドル台まで下がった。しかしその後、英国の2月の小売売上高と鉱工業生産指数が好調であったことを受け、ポンドは上昇し、足元は1.67ドル台半ばで推移している。</p>	
 <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	 <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>

## 1. 年、四半期

		11	12	13	2013/Q1	Q2	Q3	Q4	2014/Q1
実質GDP成長率*		1.1	0.3	1.7	0.4 0.5	0.8 1.7	0.8 1.8	0.7 2.7	-
実質企業投資 (前期比、%) (前年比、%)		▲ 1.3	3.9	▲ 1.2	2.8 ▲ 6.8	0.9 ▲ 3.5	2.4 ▲ 1.7	2.4 8.7	-
鉱工業生産*		▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 0.3	0.4 ▲ 2.4	0.7 ▲ 0.7	0.6 ▲ 0.4	0.5 2.2	-
	製造業	1.8	▲ 6.7	▲ 2.1	▲ 0.2 ▲ 2.8	0.6 ▲ 0.9	0.8 ▲ 0.6	0.6 1.8	-
信頼感指数*		▲ 1.8 ▲ 21.4	▲ 6.7 ▲ 20.1	▲ 2.1 ▲ 10.1	▲ 8.7 ▲ 17.0	▲ 8.9 ▲ 16.7	1.8 ▲ 3.8	7.5 ▲ 2.8	4.4 2.1
小売売上数量*		0.3	1.0	1.6	0.2 ▲ 0.2	1.0 1.4	1.5 2.2	0.5 3.2	-
失業者数 (失業保険へ入)* (千人) (前期比、%)		1,534.2 2.5	1,585.2 3.3	1,424.3 ▲ 10.2	1,536.5 ▲ 1.8	1,495.7 ▲ 2.7	1,391.8 ▲ 6.9	1,273.2 ▲ 8.5	-
失業率*									
	失業保険基準(%)	4.7	4.7	4.3	4.7	4.5	4.1	3.7	-
	ILO基準(%)	8.1	7.9	7.6	7.8	7.8	7.6	7.2	-
平均賃金収入* (前年比、%)		2.5	1.4	1.2	0.6	2.2	0.8	1.2	-
生産者価格									
	工業品産出価格	4.7	2.1	1.3	0.0 0.0	0.0 0.0	0.4 1.5	▲ 0.4 0.9	-
	原燃料投入価格	14.5	2.8	2.6	0.0 0.0	0.0 0.0	▲ 0.2 2.5	▲ 1.7 ▲ 0.6	-
小売物価									
	消費者物価(CPI)	4.5	3.2	3.1	0.4 0.6	0.7 0.3	0.3 2.7	0.6 2.1	-
	総合指数(RPI)	5.2	3.2	3.0	1.6 3.3	1.3 ▲ 1.9	0.5 3.2	0.6 2.6	-
	住宅ローン金利を除く(RPIX)	5.3	3.2	3.1	1.5 0.4	1.5 0.7	0.5 3.2	0.7 2.7	-
住宅価格 (HBOS, Halifax index)		▲ 2.6	▲ 0.6	4.7	2.8 0.6	2.7 1.0	1.8 6.2	2.1 7.5	2.5 8.7
輸出金額									
	世界計(百万ポンド) (前年比、%)	298,421 12.5	300,457 0.7	304,728 1.4	74,714 ▲ 3.0	76,180 ▲ 0.4	75,269 ▲ 0.2	74,837 0.2	-
	対EU28カ国(百万ポンド) (前年比、%)	158,764 11.9	151,062 ▲ 4.9	153,559 1.7	37,912 ▲ 5.2	38,642 ▲ 0.1	39,094 4.5	37,148 ▲ 2.0	-
輸入金額									
	世界計(百万ポンド) (前年比、%)	398,513 9.5	409,157 2.7	412,525 0.8	102,730 0.9	102,135 ▲ 0.5	104,945 3.0	101,558 ▲ 1.1	-
	対EU28カ国(百万ポンド) (前年比、%)	201,988 8.6	208,184 3.1	218,260 4.8	52,896 3.1	53,860 3.6	55,539 7.1	55,156 4.3	-
貿易収支									
	世界計(百万ポンド)	▲ 100,092	▲ 108,700	▲ 107,797	▲ 28,016	▲ 25,955	▲ 29,676	▲ 26,721	-
	対EU28カ国(百万ポンド)	▲ 43,224	▲ 57,122	▲ 64,701	▲ 14,984	▲ 15,218	▲ 16,445	▲ 18,008	-
経常収支* (百万ポンド)		▲ 22,475	▲ 59,657	▲ 71,078	▲ 16,470	▲ 9,418	▲ 22,830	▲ 22,360	-
通貨供給量* M4: (前年比、%)		▲ 2.7	▲ 1.0	0.1	0.4	1.6	2.5	0.1	-
公共部門所要借入額(PSNCR) (百万ポンド)		6,861	16,609	15,925	22,830	▲ 1,421	6,286	15,925	-
外貨準備(金を除く) (10億米ドル)		79.3	88.6	92.4	88.4	90.2	93.3	92.4	-
政策金利(レポ金利) (%)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ボンド金利(3ヵ月物) (%)		0.88	0.83	0.51	0.51	0.51	0.51	0.52	0.52
国債利回り(10年物) (%)		3.03	1.88	2.36	2.01	1.91	2.72	2.78	2.78
米ドル/ポンド為替相場		1.604	1.585	1.565	1.552	1.536	1.551	1.619	1.655
ポンド/ユーロ為替相場		0.868	0.811	0.849	0.851	0.850	0.855	0.841	0.828
円/ポンド為替相場		127.88	126.61	152.86	143.23	151.80	153.39	162.80	170.13
ポンド実効相場**		79.93	82.95	81.41	80.40	80.48	81.18	83.55	85.61

(注) 特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が期末値、その他が期中平均値。\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。

信頼感指数については、欧州委員会発表。\*\* 2005年=100

## 2. 月次

		2013/08	9	10	11	12	2014/01	2	3	
実質GDP成長率*		データは四半期のみ								
		▲ 1.0	0.8	0.2	▲ 0.2	0.5	0.0	0.9	-	
鉱工業生産*		▲ 1.6	1.9	2.8	2.0	1.9	2.8	2.7	-	
製造業		▲ 1.1	1.2	0.2	▲ 0.2	0.4	0.3	1.0	-	
		▲ 0.9	0.1	2.0	2.1	1.4	3.2	3.8	-	
信頼感指数*		0.3	9.6	2.3	11.3	8.8	5.9	6.0	1.3	
製造業		▲ 3.5	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 2.9	▲ 3.3	1.0	2.0	3.3	
消費者										
小売売上数量*		▲ 1.0	0.9	▲ 0.9	0.2	2.6	▲ 2.0	1.7	-	
		1.6	2.2	1.9	1.9	5.4	3.9	3.7	-	
失業者数 (千人)		1,392.8	1,348.1	1,305.3	1,271.0	1,243.3	1,209.4	1,174.8	-	
(失業保険ベース)*		▲ 2.9	▲ 3.2	▲ 3.2	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 2.9	-	
失業率*		(失業保険基準、%)	4.2	4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.5	
		(ILO基準、%)	7.7	7.6	7.4	7.1	7.2	7.2	-	
平均賃金収入*		(前年比、%)	0.6	0.9	1.1	0.8	1.7	1.7	-	
		(3ヶ月平均 前年同期比、%)	0.8	0.8	0.9	0.9	1.2	1.4	-	
生産者価格		工業品産出価格	0.1	0.0	▲ 0.3	▲ 0.2	0.0	0.3	0.0	
			1.5	1.2	0.8	0.8	1.0	0.9	0.5	
		原燃料投入価格	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.6	0.3	▲ 0.9	▲ 0.4	
			1.8	1.0	0.0	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 5.7	
物価		消費者物価(GPI)	0.4	0.4	0.1	0.1	0.4	▲ 0.6	0.5	
			2.7	2.7	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	
		総合指数(RPI)	0.5	0.4	0.0	0.1	0.5	▲ 0.3	0.6	
			3.3	3.2	2.6	2.6	2.7	2.8	2.7	
		住宅ローン金利を除く(RPIX)	0.5	0.4	0.0	0.1	0.5	▲ 0.4	0.7	
			3.3	3.2	2.7	2.7	2.8	2.8	2.7	
住宅価格			0.4	1.3	0.9	▲ 0.5	1.2	2.5	2.5	
		(HBOS, Halifax index)	6.2	6.9	7.7	7.5	7.3	7.9	7.9	
輸出金額		世界計 (百万ポンド)	25,172	24,994	24,884	24,695	25,258	23,927	23,547	
		(前年比、%)	1.4	1.3	2.4	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 5.6	▲ 5.3	
		対EU28カ国 (百万ポンド)	12,916	12,623	12,268	12,223	12,657	12,009	11,673	
		(前年比、%)	3.4	3.7	0.8	▲ 8.2	1.8	▲ 6.1	▲ 10.1	
輸入金額		世界計 (百万ポンド)	34,886	35,167	34,360	34,278	32,920	33,390	32,641	
		(前年比、%)	▲ 0.0	4.8	0.5	0.6	▲ 4.5	1.1	▲ 3.6	
		対EU28カ国 (百万ポンド)	18,235	18,828	18,506	18,652	17,998	17,562	17,848	
		(前年比、%)	3.6	10.6	4.6	3.7	4.5	0.6	0.7	
貿易収支		世界計 (百万ポンド)	▲ 9,714	▲ 10,173	▲ 9,476	▲ 9,583	▲ 7,662	▲ 9,463	▲ 9,094	
		対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 5,319	▲ 6,205	▲ 6,238	▲ 6,429	▲ 5,341	▲ 5,553	▲ 6,175	
経常収支*		(百万ポンド)	データは四半期のみ							
通貨供給量*		M4: (前年比、%)	2.0	2.5	2.4	2.7	0.1	▲ 0.2	0.7	
公共部門所要借入額(PSNCR)		(百万ポンド)	4,167.0	6,286.0	▲ 10,713	7,369	15,925	▲ 19,346	▲ 204	
外貨準備(金を除く)		(10億米ドル)	90.8	93.3	93.8	93.9	92.4	92.6	93.8	
政策金利(レポ金利)		(%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
ユーロ・ボンド金利(3ヵ月物)		(%)	0.51	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	
国債利回り(10年物)		(%)	2.77	2.89	2.68	2.74	2.92	2.86	2.74	
米ドル/ポンド為替相場			1.512	1.587	1.609	1.611	1.638	1.644	1.656	
ポンド/ユーロ為替相場			0.873	0.842	0.848	0.838	0.837	0.829	0.825	
円/ポンド為替相場			150.52	157.31	157.35	161.29	169.71	172.25	169.00	
ポンド実効相場**			80.98	82.74	82.68	83.57	84.44	85.46	85.79	

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

\*\* 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英国政府統計局 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。